

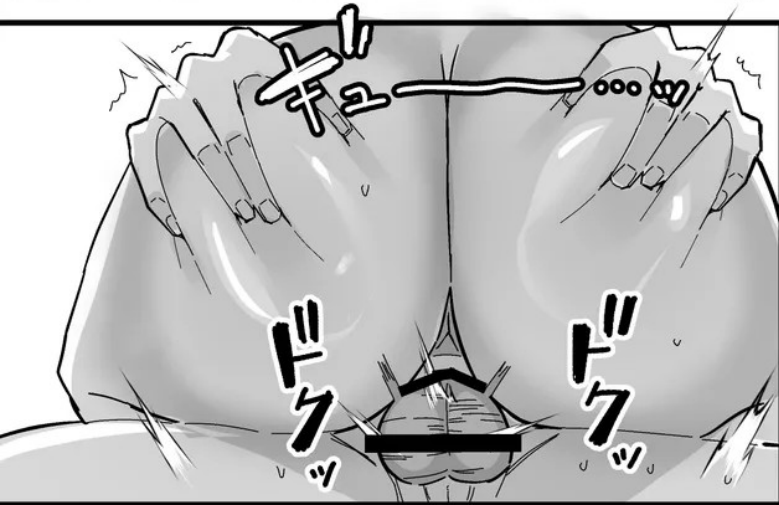


不正

清楚なよ気彼女

強引に彼に寝取られる...







熊谷に帰り
たくない
ずっとここに
いたい

だーめ!



来年私と一緒に
大学通うって
約束したでしょ

ちゃんと勉強
しないと
受からないよ



しばらく
会えなくなるのは
私も寂しいけど

ビデオ通話
で一緒に勉強
できるし

ね?

はあ、
分かったよ

はい、
いい子♡





な、なんで
ここに？

ん？2年前から
ずっとここに
住んでんだけど？



う、嘘…隣に
住んでるの？

やつと童貞
卒業したか
アイツ

しかも俺の
元カノとW



それに…
しゅう君の
知り合い
だったの？

にしても

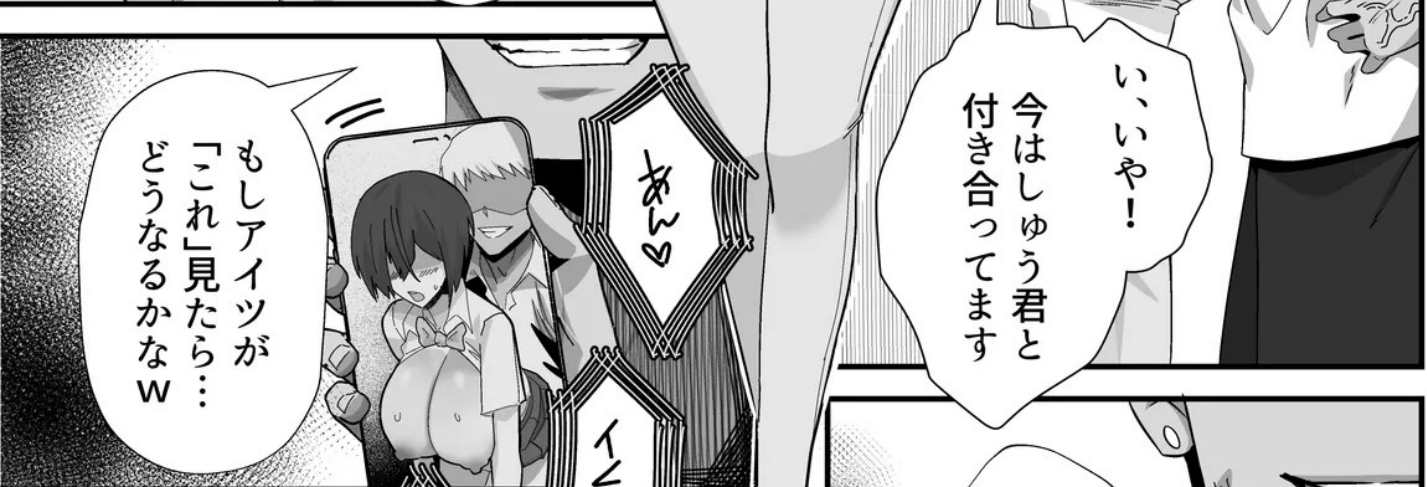
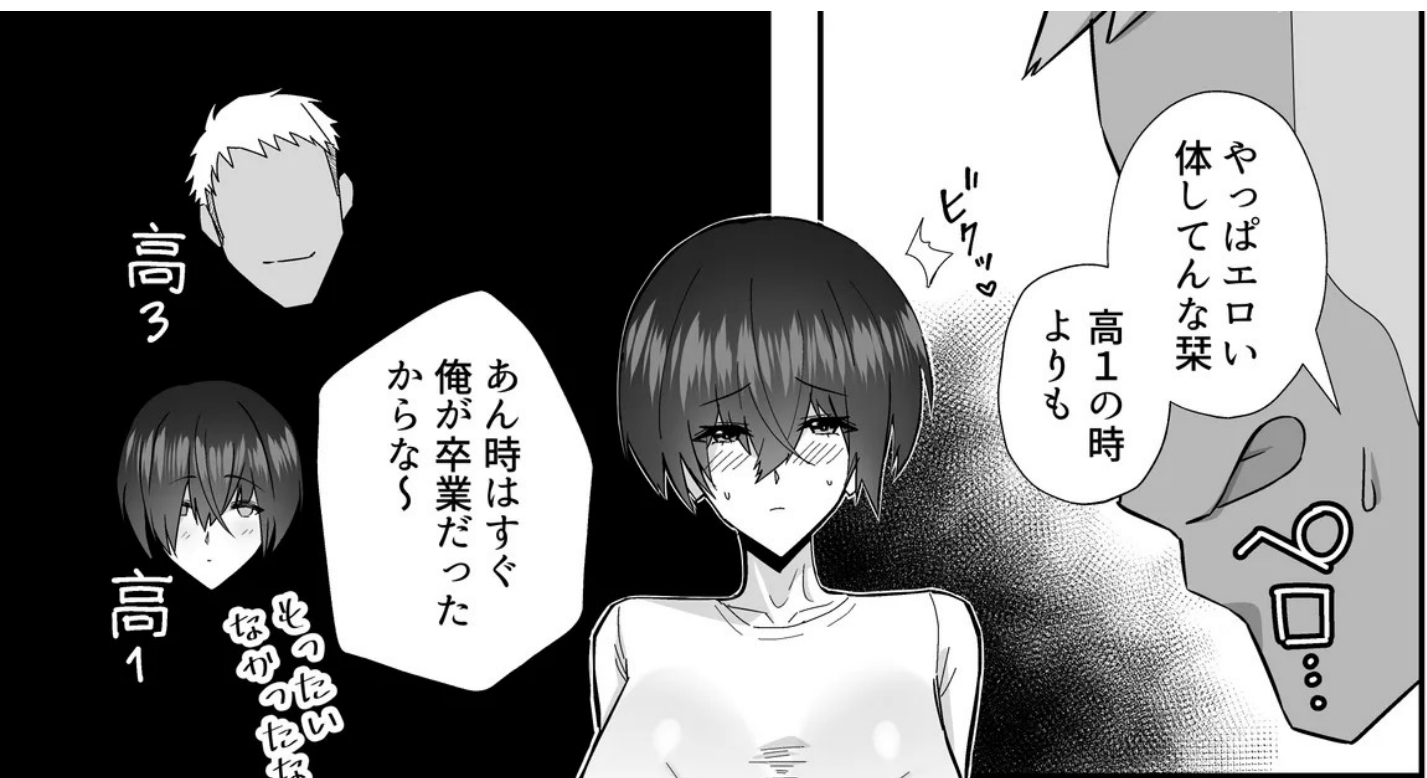


え？

さ、猿山
先輩？

よお

俺らの仲だし
昔みたいに
隆司りゅうじって呼べよ





よ、しゅう！
お久！

さっきお前の
彼女に大学で
あったよ



何で知って
る？

お前の彼女
だって知らずに
ナンパしたw
すまんすまん

何で…

はあ…

は…

は…

は…

は…

あ…

こんな事に…

おう！

他の男が近づいたら
俺が助けてやっから
安心しろ

ふん

は

は

は

じゃ

あ

ふん



しゅう君
おつかれ！

次の勉強会まで
ゆっくり
休んでね！



翌日

もう
無理...



—なんで

ようやく
猿山先輩の事
忘れたと
思ったのに—



ようしゃー！

うーうかった...

ずっとそばに
いてくれて



はああ

絶対〇合格

私より
年下なのに...

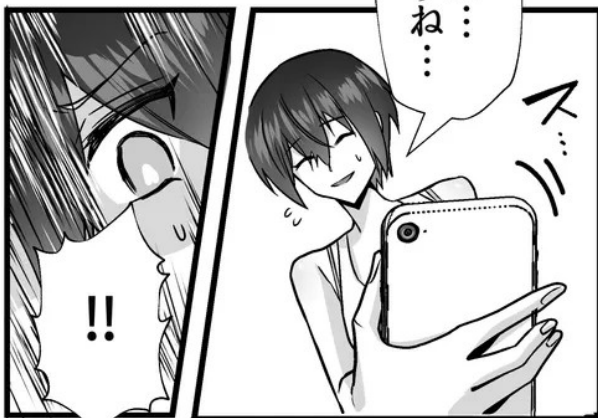
私を大切に
してくれて...



猿山先輩が
卒業した半年後

当時一年生の
しゅう君と
出会って...

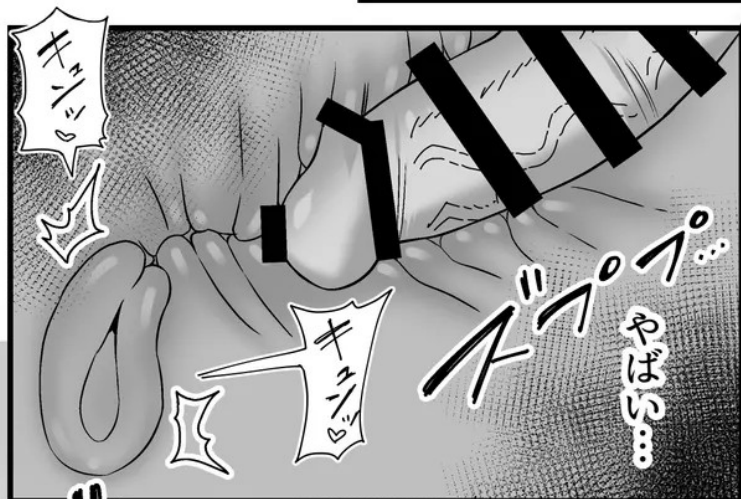


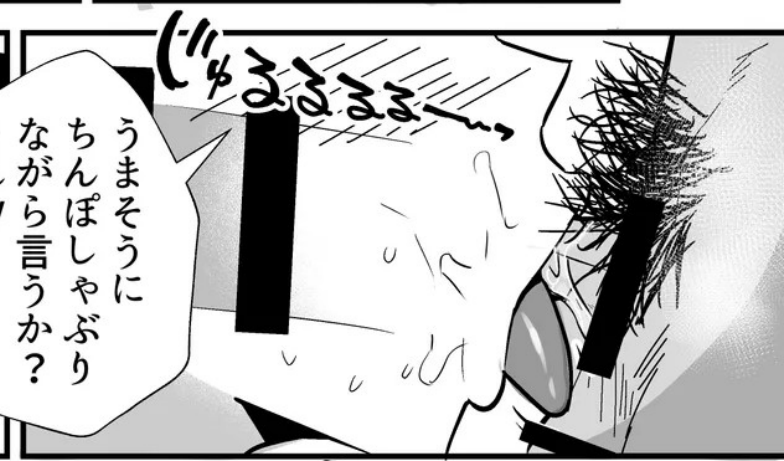
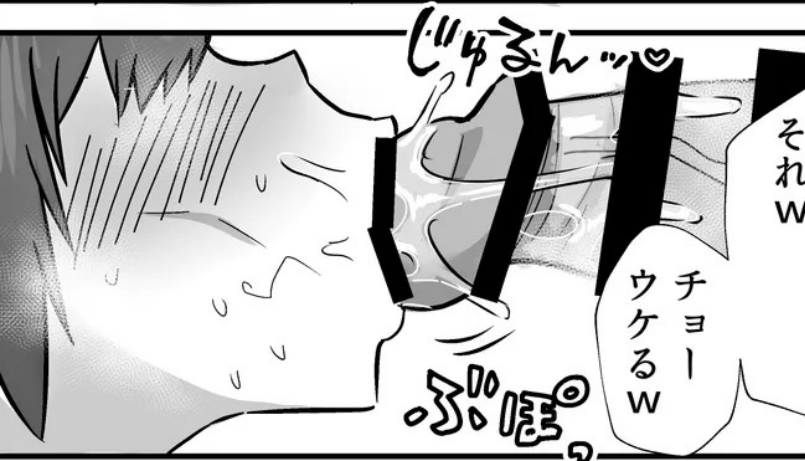












そしてどんどん
エスカレートする
彼の欲求を
満たすため：

先輩？

あ、うん！

論文：
だね？

何かカメラ：
近くない？

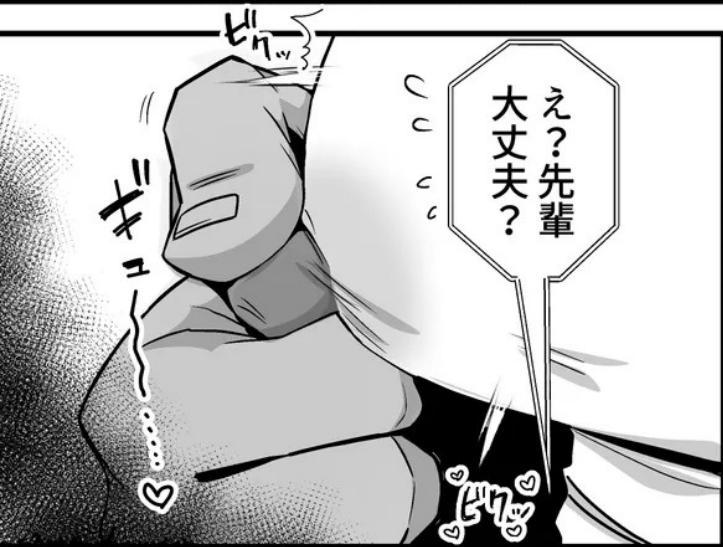
えっと
論文を
書く時は

ちよつと
エロいけど

主題をちゃんと
明確にする事

私としゅう君の
幸せな勉強会の
時間まで奪われて！

…んツ♡！





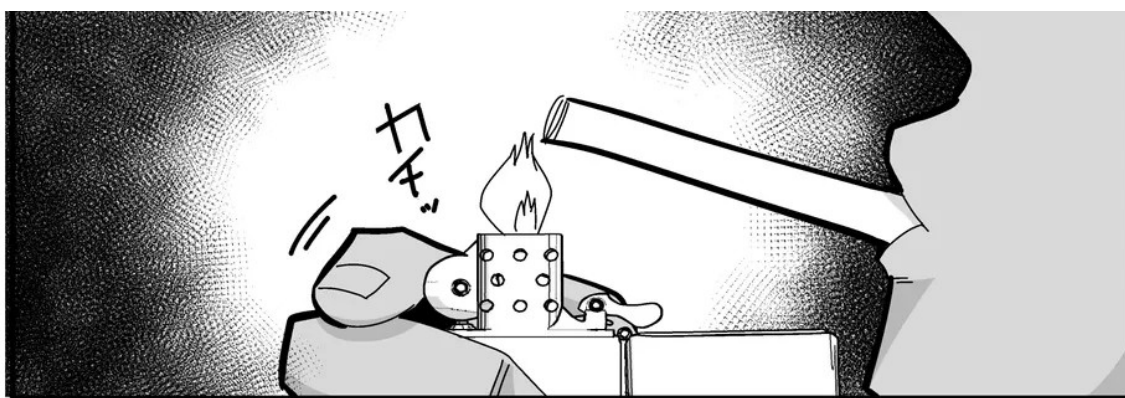


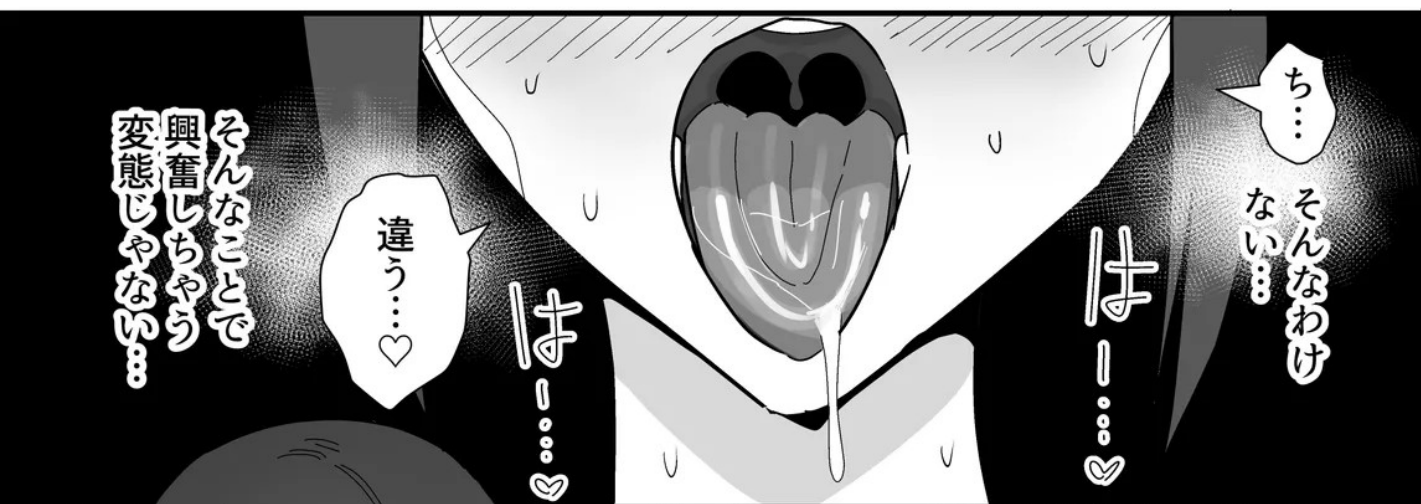


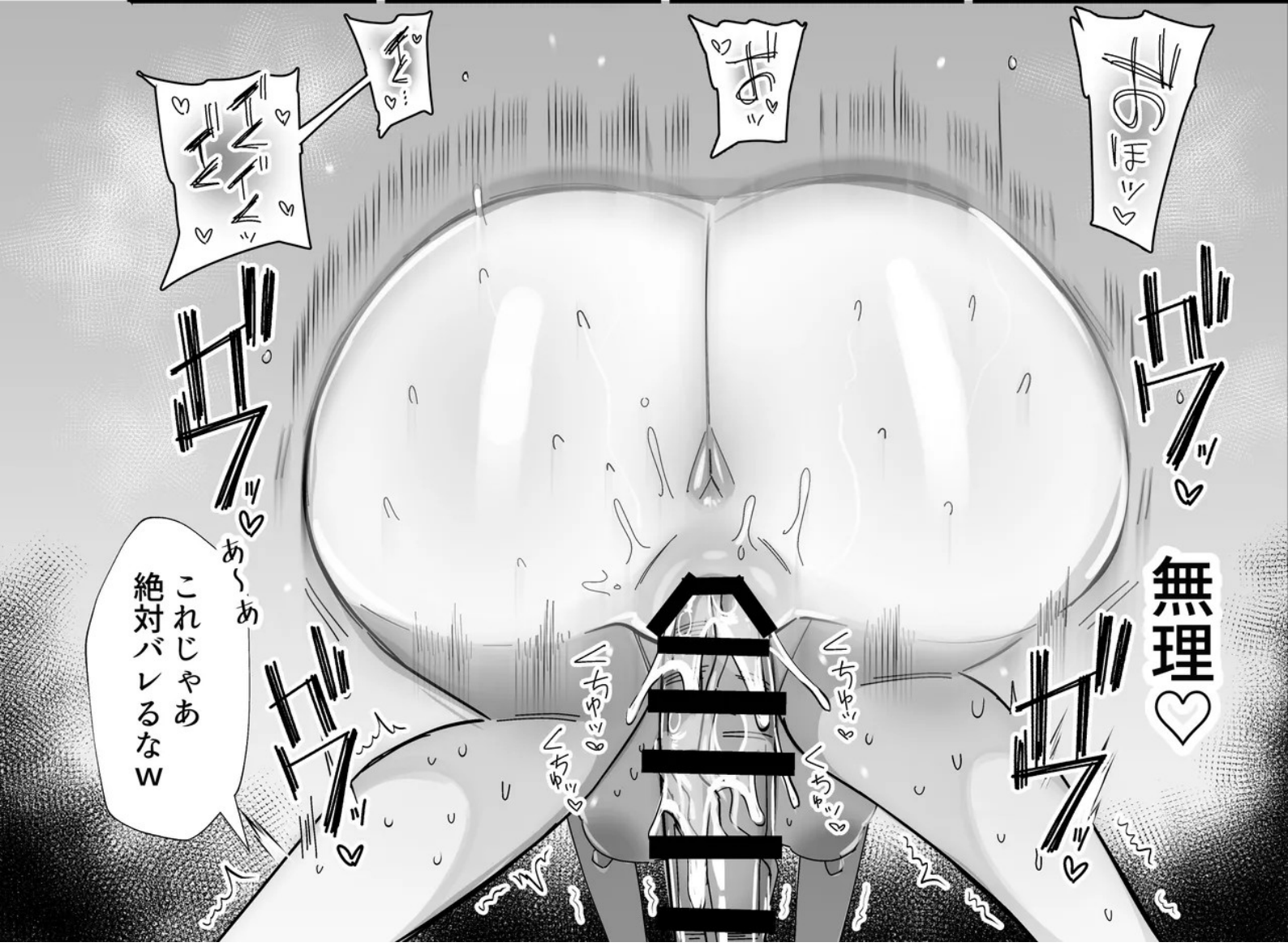
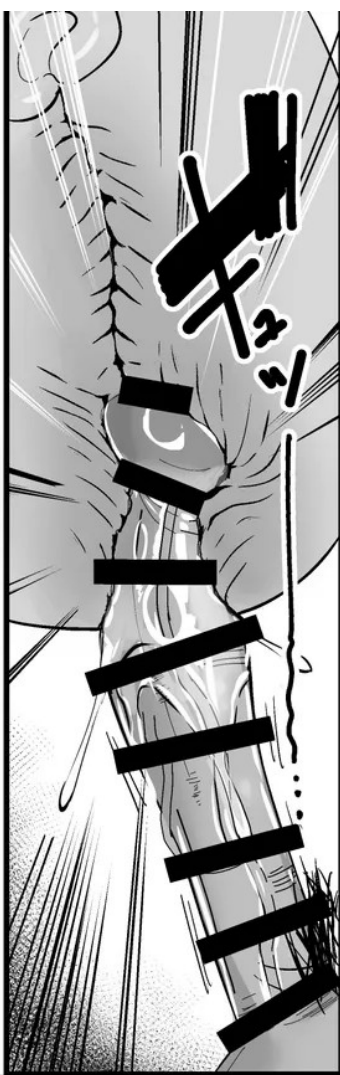
















しゅう君の
為だから...

こうしないと
バレるから

△ちゅ...

ん...♡

みち...

大丈夫...
よね?



は♡

隆司のデカくて
なツがうい
ちんぽの方が
すすすすき♡

は...

ごめんね
しゅう君...

絶対嘘
だから...

もじ...

ち♡

もじ...

む♡

君のため
だから♡

しゅう君のちゅちゅくて
可愛いおちんちん
なんか一生叶わない

は...

ん...



あっそw

あ

あ...

あ

あ

いね...

あ

あ

あ

あ

やっと
認めたな

いい子だ

ふん

ふん

最っっっ
っっっ

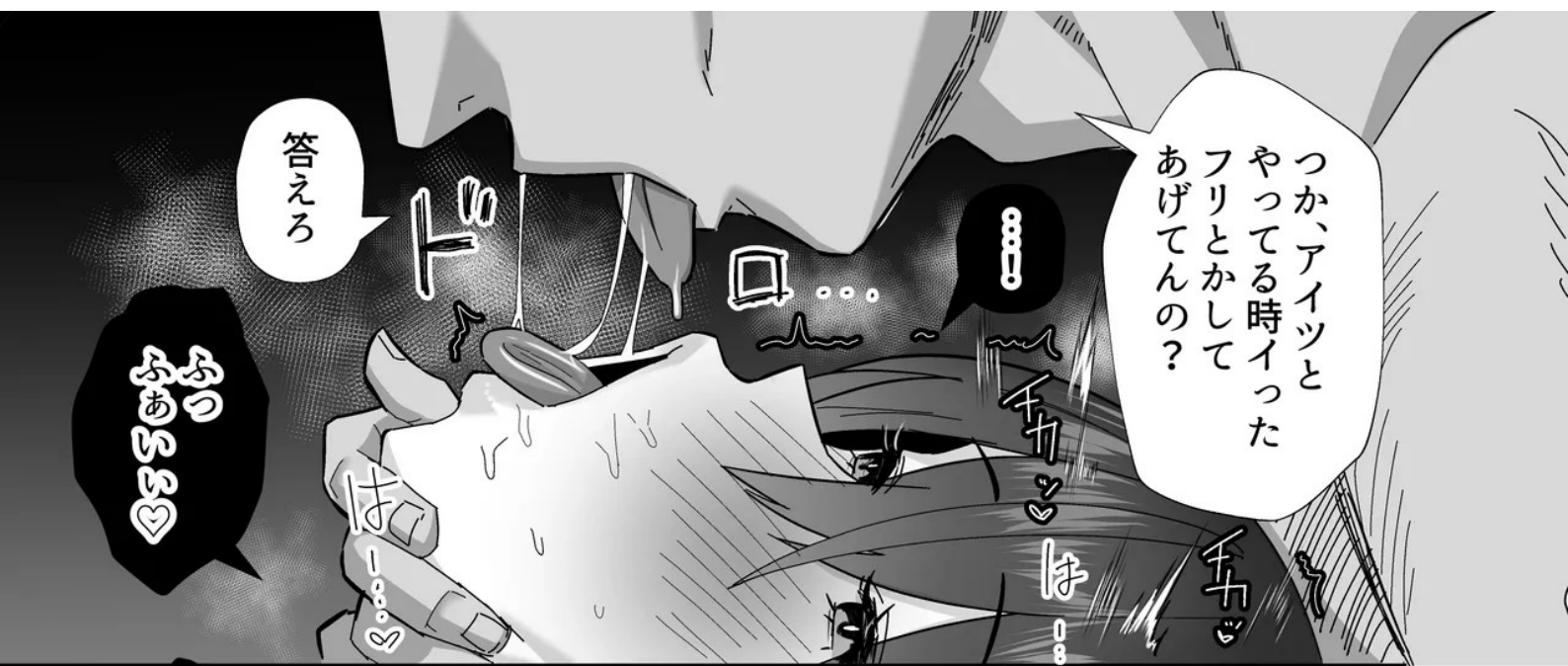
ふん

ふん

ふん

ふん

ふん



つか、アイツと
やってる時イッた
フリとかして
あげてんの？

答えろ

ふふ
ふふ
ふふ



しゅう君のつも
一懸命私を
気持ちよくして
くれるから

先輩！

いきそう
ですか？

けど隆司と違って
私の弱い所届かない
から！



彼が傷つかない
ように

うん

いつちやいそう
だよ

いつもイッた
フリをしてました



いつも？
WW可哀想に

こんなに
雑魚まんこ
なのになあW

おき...

イン...

イン...

ふふ
ふふ
ふふ

んで、生セックス
させた事あんの？

ふるっ♡

ふるっ♡

はー♡

はー♡

まだ…
です

まじかよW

ふるっ…

おほ♡♡

ふるっ♡

今彼より先に中出し
できてテンション
まじ上がるわ

ほ♡
お♡

オラツもつと
おねだりしろ

は、はい♡

ほ♡

ふるっ♡

ふるっ♡

ふるっ♡

ふるっ♡

ふるっ♡













あとがき

完成した————！！！！
って最後の最後のコマを描きながら自分に思っていました。

これほどギリギリまで追い込まれるのはもう二度と
経験したくないですね。もっとちゃんとスケジュール立てて、
それを守れよ俺！って感じです。

あ、どうも！ はじめましての方も、
これまでの作品を読んでくださった方も、
サークル「全自動下ネタ製造マシン」のちねつです。
ここまで読んでいただき、誠にありがとうございます。

今回の作品は、自分でも認めたくないくらい時間が
かかってしまいました。待たせてしまって
本当に申し訳ありません！

本作はできるだけシンプルで分かりやすいストーリーを
目指していたのですが、悪い癖でついつい途中から
複雑にしまったり…。

でも最終的には、自分でも納得できるストーリーになったと
思います！ 皆さんはいかがだったでしょうか？

ちなみに、最後の栞ちゃんの心の声「早く帰れ！！♡」は、
わざと曖昧にしました。誰に向けた言葉だったのでしょうかね…
…彼氏？ 元彼？

次回は、ちょっと短めの本を作る予定です。冬コミに
間に合わせたいのと、このストーリーは短編にちょうどいいと
思ったので。どうぞ楽しみに！

全自動下ネタ製造マシンのちねつでした！またね！

<https://twitter.com/chinetsu15>





全自動
下ネタ
製造
マシーン

秋2025